



2026年5月15日

各 位

上場会社名 株式会社デンキョーグループホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 高瀬 一郎
コード番号 8144 東証スタンダード市場
問 合 せ 先 代表取締役専務 栗嶋 裕充
(TEL 06-6631-5634)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 55,200	百万円 560	百万円 680	百万円 480	円 銭 79 37
今回発表実績(B)	52,097	176	405	329	52 71
増減額(B-A)	△3,103	△384	△275	△151	—
増減率(%)	△5.6	△68.6	△40.4	△31.5	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	54,326	108	288	420	69 65

2. 差異の理由

売上高については、消費者ニーズに合致した商品の開発・発掘強化と提案活動の徹底、取引先への企画提案の更なる強化を推進するなど、積極的な営業施策を推進してまいりましたが、業界内の再編・淘汰の動きが加速する中で、競合他社との競争が激化したこと等が影響し、前回公表の予想数値と差異が発生いたしました。

利益面におきましては、エネルギー・原材料価格の高騰と円安基調が続く中で、輸入コストの上昇に対応し高粗利商品の販売強化等により売上高総利益率の改善、売上総利益額の拡大を進めてまいりました。一方で売上減収影響が大きく、また販売費及び一般管理費の抑制も進まなかったことで、営業利益、経常利益では前回公表の予想数値を下回ることとなりました。また、当期純利益では、投資有価証券売却益を計上した一方、固定資産売却損、減損損失、事務所移転費用を計上したこと等により、前回公表の予想数値を下回ることとなりました。

以上